

徳島県議会  
自由民主党

料金別納  
郵便

配達地域指定

阿南市に  
お住いの皆さまへ

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組めます!

徳島県議会  
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組みます!

# 徳島県議会 自由民主党

阿南選挙区

会長

かみ ひろゆき

## 嘉見博之

当選回数 / 5回



徳島県議会議員の嘉見博之  
(かみ ひろゆき)です。

今、世界は大きな転換期を迎えています。

中国の覇権主義に加え、アメリカ第一主義を旗印に掲げるトランプ政権からも目が離せない状況です。

世界の平和と繁栄は、内向きな発想では成し遂げられません。

各国がアイデンティティを大切にしながら、他国と真摯に向き合い、共に歩む道を探り当てていく、その覚悟と努力が必要です。

我が国は、かつて太平洋戦争へと突き進み、一敗地にまみれ、その後、国際協調と国民のたゆまぬ努力で経済発展を遂

げました。

その日本が、今後、アジアをはじめ国際社会で果たすべき役割は大きく、責任ある外交政策の舵取りが求められます。

そして、人口減少や少子高齢化の進行など、地方においても様々な課題を抱えており、総力をあげて地域活性化に取り組むことが重要であり、私たち「徳島県議会自由民主党」はその推進母体となるものです。

地域の活力の源泉は、何と言っても「人」であり、「人口」です。

今こそ、国・地方を通じて、人口減少に歯止めをかけるために、子育て支援や定住促進を最優先に、思い切った政策を展開

すべきと考えています。

一定の定住人口が確保できれば、そして少しでもそれを増やしていくことができれば、地域産業において衣・食・住の多彩なビジネスが盛んになり、税収増加につながり、更に政策を強化できるといったように、経済社会に好循環がもたらされます。

定住人口の確保に向けてどのような手立てが有効なのか、様々な切り口から、新たな取り組みを推し進めていく必要がある、この思いを強くしているところです。

また、地域の暮らしを支える基盤整備についても、更に弾みをつけ、加速させることが不可欠です。

四国横断自動車道・徳島IC～阿南ICの早期供用をはじめ、高速交通ネットワークの整備促進に向けた活動を、徳島県議会としても、さらに活発化していかなければならないと考えています。

今後とも、「流した汗が報われる社会」、そして、「ささやかでも生きる幸せを感じ、夢を抱ける徳島」を築くため、同志と心を通わせ力を合わせて、ひたむきに活動を繰り広げてまいります。



県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組みます!

# 徳島県議会 自由民主党

阿南選挙区

いわさ よしひろ  
岩佐義弘

当選回数 / 1回



徳島県議会議員の岩佐義弘(いわさ  
よしひろ)です。

■少子高齢化・人口減少が加速する  
中、これからの未来を見据え、安心  
して暮らせる徳島県づくり、持続可  
能な地域発展が重要と考えます。

そこで、

① 災害に強い環境づくり

② 地域産業の活性化

③ 子育て・医療福祉環境の充実

という主に3つの視点から、今県が抱  
えている課題の提起・解決に向け、取  
り組んで参りました。

## ①災害に強い環境づくり

(防災減災対策とインフラ整備)

南海トラフ巨大地震や中央構造線活  
断層地震の発生に加え、激甚化・広域  
化する豪雨対策などへの備えを事前か  
らしっかり行うことで、いざ災害が発生  
しても、人命や財産を守り、素早い復興へ  
つなげられることが、安心して暮らし続  
けられる基礎となるものだと考えます。そ  
こで、

- ・那賀川をはじめ中小河川の整備や  
堆砂対策などの治水対策強化
- ・発災時の避難所確保・運営、トイレの  
環境改善、市町村への支援強化
- ・避難情報や気象情報の県民への情  
報提供・周知の方法
- ・四国横断自動車道と緊急輸送道路  
となる周辺県道整備
- ・国の防災減災対策事業の拡充や恒  
久化の要請

などを質問で取り上げて来ました。



那賀川と建設中の四国横断自動車道

## ②地域産業の活性化

(地域産業振興と鳥獣被害対策)

県外からの移住者が増える一方、自  
然減・社会減の現状を考えると、生活の  
基盤である産業の発展が必要です。徳  
島県の特徴を活かし、農林水産業やLE  
D関連産業など、地域産業の持続的発  
展とともに、インバウンドの流れを全県、  
特に県東部から南部へと創っていくこ  
とが重要だと考えます。そこで、

- ・農林水産業の生産力向上、ブランド  
化による国内外への販売力強化
- ・LED関連製品の生産力・発信力・販  
売力の強化と人材の育成
- ・ジャパンプルー阿波「藍」の生産振興  
と販路拡大
- ・徳島阿波おどり空港の利用者増へ  
の取組、公共交通・道路整備による  
観光産業の推進
- ・鳥獣被害対策、狩猟者の育成や確  
保、ジビエ処理加工施設

などを質問で取り上げて来ました。



LEDと藍の情報発信、ターゲット別視察

## ③子育て・医療福祉環境の充実

(子育て支援と地域包括ケア)

少子化対策を進める上で、出産や育  
児に関することや、いじめ等の教育問題  
をワンストップで相談できる体制づくりが  
必要と考えます。また医師不足や偏在を  
無くし、医療・福祉体制を充実すること  
が、末永く暮らし続ける基盤だと考えま  
す。そこで、

- ・出産前後の不安解消のためのワン  
ストップ相談体制

- ・いじめや不登校等、子どもの相談体  
制の拡充(相談員、SNS相談)
- ・子どもの健康課題や体力向上
- ・全国ワーストワンとなった糖尿病対策  
と糖尿病予備軍対策
- ・県内のがん診療体制と、定期健診受  
診率向上への取組

などを質問で取り上げて来ました。



この他にも、都市圏からの移住促進  
や消費者庁徳島移転、環境問題などを  
取り上げるとともに、関係機関への視察  
を行って参りました。

また、開かれた議会への取組みとし  
て、本年は徳島文理大学総合政策学  
部生に「地方創生における農業の役  
割」と題し講演を行いました。



これからも、安心して暮らせる徳  
島県づくり、地域づくりを目指し、課  
題解決に向け全力で取り組んで参  
ります。

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組みます!

# 徳島県議会 自由民主党

阿南選挙区

しまだ まさと  
島田正人

当選回数/1回



## 徳島県議会における一般質問

**Q** 阿南インターチェンジへのアクセス道路、東西幹線道路の整備について

**A** まず、富岡港南島線につきましては、現在、辰巳工業団地の南側において、渋滞解消や災害時の避難路にもなる700mの区間で整備を進めております。

また、国道55号・バイパス交差点の渋滞対策として辰巳ランプを完成させ、これに続く、幅員が狭く、車のすれ違いが困難となっているJRアンダーパスの西側600mの区間において、那賀川の堤防を活用して整備できるよう、河川管理者をはじめ関係機関と協議を行っております。

**Q** 南部健康運動公園の陸上競技場における現在の進捗状況と今後の取組みについて

**A** 陸上競技場につきましては、県高校総体をはじめ主要な大会が開催できる県内3箇所目の競技場として第3種公認を基本としながら、円滑な競技運営や競技種目の充実を図るため、写真判定用機材や障害物競走路などを備えたワンランク高い施設にするとともに、フィールドにつきましても、陸上競技におけるやり投げや円盤投げなどの使用のみならず、少年サッカーでは2面が使用できる広さを確保し、天然芝を整備することとしております。

**Q** 地球温暖化防止、県産材の活用による森林所有者の所得向上のための、木質バイオマスのエネルギー利用推進について

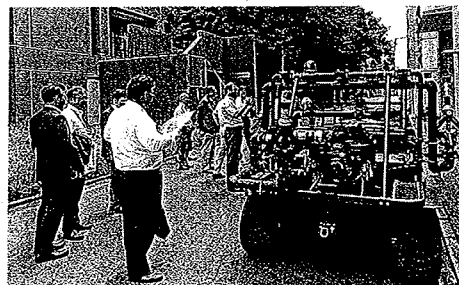
**A** 本県では、成熟してきた森林資源のさらなる利用を推進するため、徳島県・県産材利用・促進条例を制定しております。特に、カーボン・ニュートラルである木質バイオマスについては、温泉給湯ボイラーや農業ハウスの加温などの熱利用に、薪やペレットが年間約5万トン、また、阿南市や小松島市で稼働を始めた、木質バイオマス発電所に、未利用材が年間約7万3千トン、それぞれ供給されるなど、本県における木質バイオマスのエネルギー利用は着実に拡がりを見せております。

**Q** 阿南市内の新設交番の概要及び今後の交番・駐在所の設置方針について

**A** 年内にも阿南市内に24時間体制で警察官が常駐する交番を新たに整備することとしております。その背景といたしましては、阿南警察署管内で発生する事件・事故の約5割がJR阿南駅周辺の市街地で発生しているものの、夜間や休日においては、管内全域をカバーしているパトカー乗務員や本署勤務員が対応しているところであり、更に初動対応を強化するためには、24時間体制で警察官が常駐し、各種事案に迅速・的確に対応できる交番の設置が強く求められていたところでもあります。



本会議の一般質問



防災対策特別委員会の視察  
消防庁消防研究センター(H29.8.23)



四国の新幹線実現に向けた  
四国4県同時署名活動(H29.4.1)

徳島県議会  
自由民主党

料金別納  
郵便

配達地域指定

吉野川市に  
お住いの皆さまへ

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組めます!

徳島県議会  
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組みます!

# 徳島県議会 自由民主党 吉野川選挙区

幹事長

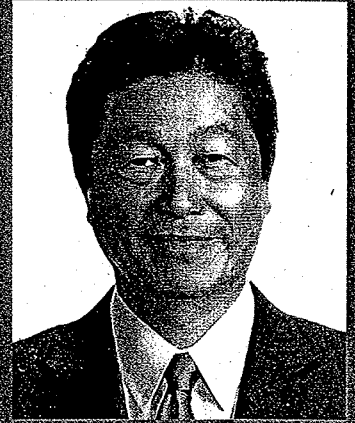
かしもと

榎本

たかし

孝

当選回数 / 6回



四国の新幹線実現に向けた四国4県同時署名運動(H29.4.1)

徳島県議会議員の榎本孝(かしもと たかし)です。

私は、県議会議員の最大会派である徳島県議会自由民主党の幹事長を務めさせていただいております。

これまで、四国新幹線の実現など、様々な課題解決に向け、知事や県内の市町村長等とともに、繰り返し国等に対する要望・政策提言を行ってまいりました。

今後とも、真の地方創生、希望にあふれ、誇りある徳島県の実現を目指し、県民の皆様や同僚議員とともに、全力を傾注してまいります。

## ■平成29年6月徳島県議会定例会(代表質問)「早明浦ダム再編を突破口とし、吉野川の水問題の全面解決を」

問：早明浦ダム再編を契機に、これまで国が示した無堤地区解消や農業用水の安定確保等の5つの対策のみならず、銅山川の環境改善や洪水の軽減等、吉野川の全ての水問題を解決すべき。

答：国への提言の結果、全ての対策が出そろい、水問題が一気に解決できる段階に達した。この機を逃さず、議会とともに決断し、吉野川新未来の実現に取り組む。

問：山陽新幹線のリダンダンシー(代替手段)の確保や強い国土形成、交流人口の拡大等、整備効果が期待できる横軸ルートの推進について、より強く声を上げ、四国新幹線の実現を目指すべき。

答：関空からのインバウンド効果を取り込むことの重要性等を強く主張してきた。四国4県で整備促進期成会を立ち上げ、整備計画への格上げに取り組む。

問：JR四国は本県の路線で2040年の輸送人員が最大31.6パーセント減少するとの見通しを発表した。JR四国の懇談会発足に当たり、路線維持に向け、県はどう取り組むのか。

答：県生活交通協議会ワーキング部会での議論を懇談会に提案するとともに、地域公共交通の実情を踏まえた財政支援について、国に対して提言していく。

## ■平成28年6月徳島県議会定例会(代表質問)「多発する交通死亡事故の抑止対策を強化すべき」

問：今年、交通死亡事故が多発し、昨年一年間を上回る30人が亡くなられ、このうち高齢者が約8割を占めている。そこで、交通安全の県民大会を開催し、県民総ぐるみでの抑止対策を強化すべき。

答：高齢者交通安全推進会議の開催等、対策を強化し、新たに交通安全CMの放映や交通安全県民大会を実施するなど、人優先の交通安全思想の浸透を図る。

問：労働力人口が減少している中、障がいのある方も能力を生かし働く県民総活躍社会の構築は、喫緊の課題。障がいのある方が持つさまざまな特性を育む就労支援にどう取り組むのか。

答：特別支援学校と企業との交流会開催、障がい特性やニーズに応じたオーダーメイド型職業訓練、さらに、業界団体との協定締結による就業体験等を進める。



# 原井 敬

当選回数 / 1回  
県議会所属委員会 / 経済常任委員会  
次世代人材育成  
・ 少子高齢化対策特別委員会

生年月日 / 1979年5月12日 39歳  
住所 / 吉野川市山川町宮地278-1

## 徳島県議会 自由民主党 吉野川選挙区

■平成二十九年九月定例会  
一般質問 抜粹

**IoTの積極的な利活用により地域の活性化を図るべき！**

問 少子高齢化や過疎化が進み人手不足等の課題を多く抱える本県においてこそ、IoTを積極的に活用し、地域の活性化と経済の好循環を図るべき。

答 IoTの最先端技術を有する企業との包括連携協定を締結するとともに、とくしま新未来データ活用推進戦略（仮称）を本年度内に策定し、とくしまモデルの実装に向け取り組む。

■平成二十八年十一月定例会  
一般質問 抜粹

**地域の伝統産業や技能の後継者の育成を！**

問 地域の伝統産業や技能の事業承継は後継者の育成が課題。第三者の後継者を探す事業者と移住希望者とのマッチングの仕組みを構築すれば、事業の永續と移住の促進につながるのでは。

答 とくしまジョブステーションの移住希望者情報と事業引継ぎ支援センターの後継者を求める企業情報を一元化し、マッチングできるよう機能強化を図る。

■平成二十八年二月定例会  
一般質問 抜粹

**望ましい川の姿をイメージした対策を！**

問 浸水対策として、河川に異常堆積した砂利を除去するだけになっている。これまでの治水の観点に立った維持管理に加え、景観や環境にまで配慮し、川の再生を行っていくべき。

答 堆積土砂について、環境に配慮した取り組みの実証実験を行うとともに、河川再生の視点を県民に分かりやすく示すため、治水利水に関する条例に反映する。

※【IoTとは】「Internet of Things(モノのインターネット)」の略。自動車、家電、ロボットなどあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りにより、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すこと。

徳島県議会  
自由民主党

料金別納  
郵便

阿波市に

お住いの皆さまへ

配達地域指定

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組めます!

徳島県議会  
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地



県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組みます!

# 徳島県議会 自由民主党

阿波選挙区

てらい しょうじ  
寺井正邇

当選回数 / 3回



徳島県議会議員の寺井正邇(てらい しょうじ)です。

農業にまつわるさまざまな課題や疑問に直面しては、もどかしさを感じながら専業農家を営んできましたが、平成19年4月、農業者の代議たれとの思いで、一念発起、徳島県議会議員に立候補しました。おかげさまで初当選。現在3期目を努めさせていただいています。

農業は、就業者の減少、自給率の低下、見通せない貿易協定の行方、さらに、異常気象の深刻化など、さまざまな困難を抱えています。また、水無くして農業は語れず、治水や利水の課題も山積しています。

農業=食であり、食はいのちの基盤・国の根幹であるとの認識のもと、当選回数を重ねるごとに

使命感は強くなっています。現在、農林水産業の成長産業化、6次産業化とブランディング、研究機関や人材育成機関での取り組みの充実、農村地域の防災・減災力の強化、消費者目線に立った「食の安全・安心」対策などを喫緊の課題と位置づけ、丁寧に真摯に取り組んでいます。

また、県民の切実な要望をすくい上げることも県議としての大切な役目であり、農業道路の整備、河川の改修、県道の改修などを実現しています。これにより、地域の安心安全の確保と防災効果の向上に資することができたとのささやかな自負を持っています。

議員活動と並行して、全国たばこ耕作組合中央会会長、吉野川北岸土地改良区理事長、徳島県農業会議会長、徳島県議会治水・利水を考える議員連盟会長の任も長年にわたって努めさせていただいています。

全国たばこ耕作組合中央会会長としては、北海道から九州・沖縄まで文字どおり東奔西走して生産地の課題解決に取り組み、吉野川北岸土地改良区については、国営土地

改良事業「吉野川北岸第二期工事」を円滑に進めるために関連諸機関との調整などに力を尽くしています。

農業の未来、利水と治水、農業と暮らし、環境など、諸課題を総合的・複合的に捉えながら、議員としての立場との両輪で、より良い方向へと歩をすすめてまいりたいと考えております。

人口減少がすすむわが国において、若年女性人口の減少により、全国の自治体の半数896に消滅の可能性があるといわれ、徳島県内でも17の市町村が挙げられています。

また、少子高齢化が同時に進行していくことにより、農林水産業においては、後継者問題や休耕地の問題をはじめ、多くの課題に直面するとともに、集落を維持していくことすら困難となる時代が近い将来に訪れる可能性があります。

こうした厳しい現実をしっかりと見据えつつ、食や農の環境を良くすることで徳島県の魅力を高め、人口増にも繋げていけると信じ、我が道を邁進してまいる決意です。



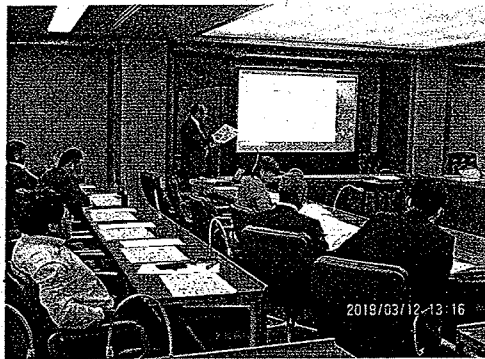
県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組みます!

# 徳島県議会 自由民主党

阿波選挙区

まるわか ゆうじ  
**丸若祐二**

当選回数 / 3回



徳島梁山泊定例会(H30.3.12)

徳島県議会議員の丸若祐二(まるわか ゆうじ)です。  
徳島県議会議員となって3期目、早12年が過ぎようとしています。  
今期は初年度から3期生以下の21名からなる、超党派政策塾「徳島梁山泊」を結成し、私が会長となり、超党派だからこそできる議会改革を目指しております。  
2000年の地方分権一括法により機関委任事務が廃止され、国と地方が対等の関係となった今だからこそ地方自治は本来の「二代表制」の原理に基づく運営が求められ、地方議会もまた抜本的に見直す必要に迫られております。  
徳島県議会においても、議会機能の強化と共に議員の政策立案能力や情報発信力を高めるとともに、県民の負託と信頼に応えていかなければなりません。

「徳島梁山泊」は、政党や会派の枠を超えて、議会の本質である「代表の原理」「審議の原理」「行政監督の原理」という3つの基本原理による議会活動を、積極果敢に行うことを活動理念として発足しました。

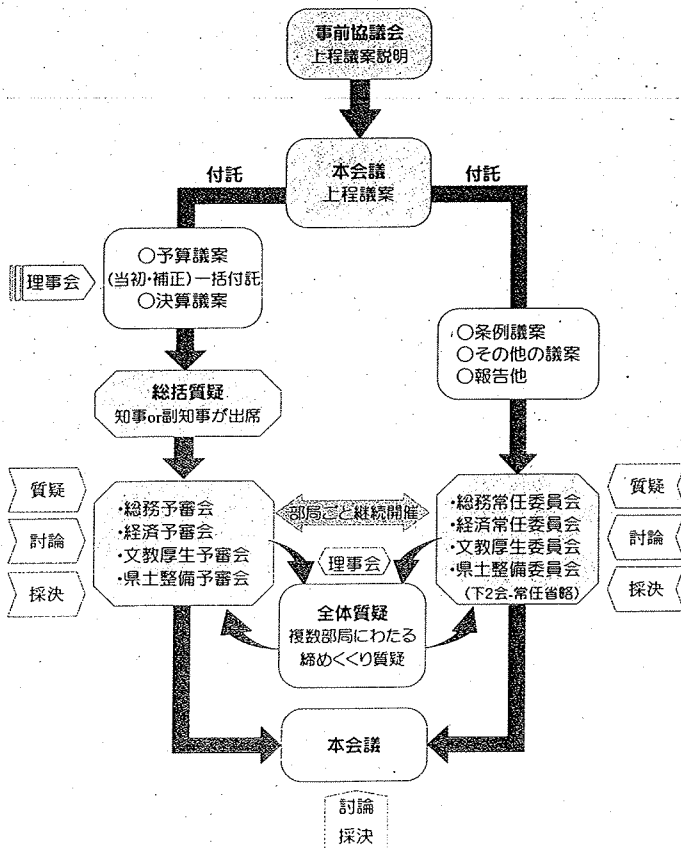
様々なテーマでの県外研修や庁内研修、企業訪問などを実施するとともに、私としては「議会改革の目玉」であり、活発な議論のステージづくりとなる「予算決算常任委員会」の創設を目指しました。

現在、徳島県議会の運営は、議会開会の前に「事前委員会」が開催され、そこで議会に提案される議案の説明と、それに対する質疑がなされています。

議会に提案された議案は、各常任委員会で審査されたのち議決され、本会議にその結果を報告し、議決となります。

各委員会に「分割付託」されるということは、予算全体を一体的に審議する機会がないということになりますし、知事提案にもかかわらず、委員会には知事は出席せず、担当部長が担当することになります。

私にとっての3期目は、お世話になった竹内資浩議員の死去、会派の分裂、自民党会派の再統合など、議員活動にも影響を与えた激動の4年であったこともあり、徳島梁山泊で目指した「委員会改革」については、3期目中に結果を出すことが出来ませんでした。今後も「予算決算常任委員会」「議会のペーパーレス化」「議会のWi-Fi化とタブレット利用」は、来期の実現に向け、行動してまいります。



予算決算常任委員会のフロー図

徳島県議会  
自由民主党

料金別納  
郵便

配達地域指定

美馬市・つるぎ町に  
お住いの皆さまへ

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組めます!

徳島県議会  
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組みます!

# 徳島県議会 自由民主党

美馬第1選挙区

きのした いさお  
木下 功

当選回数/3回



徳島県議会議員の木下 功  
(きのした いさお)です。

私は、これまで文教厚生委員会に長く所属し、教育問題や障がい者支援施策を中心に、議会活動を行ってきたところで、これが政治家としての私のライフワークと言えるのではないかと思っています。

とりわけ、高校入試制度については、県議一期目の最初から県教委に対して改善を求め、かつての前期選抜・後期選抜の二段階選抜制度の問題点などを指摘するのに加えて、高校進学希望者の全入制度の確立を強く訴えてきました。

少数の子どもたちが公立高校からはじかれる制度は、子どもたちにも先生方にも、あまりにも酷な制度と言わざるを得ず、私は、徳島県の高校進学状況に鑑み、公立高校に進学を希望するすべての生徒を公立高校は受け

入れるべきだとの信念を抱いています。

また、このほか、少人数学級の充実についても、県教委の積極的な取り組みを求めました。

子どもたち、ひとりひとりの個性や能力に応じた、キメ細かな教育を充実していく上で、少人数学級の拡充は極めて大きな意味を持ち、それが実現すれば、子どもを育てていく方々が、将来に明るさを見いだせることができ、少子化対策としても極めて効果的だと考えたからです。

さらに、特別支援教育のあり方についても、重要なテーマとして焦点を当てました。

私は、県西部における特別支援教育の充実、具体的には、池田支援学校美馬分校の設置について、地元の関係者の皆さんと力を合わせて取り組みました。

今後、高等部に続いて、小・中学部が設置されるよう提言を重ねるとともに、高等部を卒業していく生徒に対する就労支援の更なる充実を要請していきたいと考えています。

また、発達障がい、ひとりひとり、障がいの態様が異なり、その教育には高い専門性が求められるところで、それを担う「みなと高等学園」の開校は、全

国的にも画期的な取り組みです。

私は、この学校に入学する生徒に対する教育を充実させるだけでなく、みなと高等学園における発達障がい児教育を、県西部をはじめ、全県下に広げるべきだと思っています。

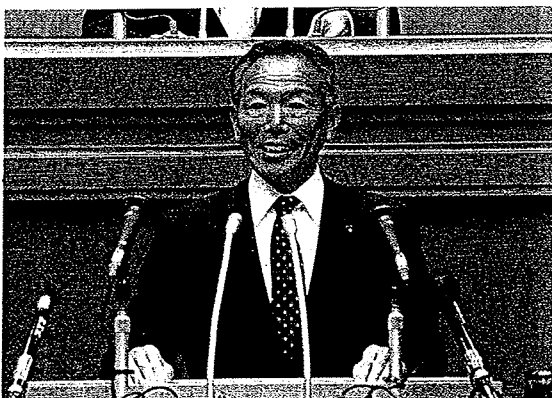
もう一つ、私は、地元の大きな課題として、西部運動公園の整備について、本会議において幾度も質問を行ってきました。

スポーツは、する人にとっても見る人にとっても、心を明るくするもので、県民がいろんなスポーツに親しめる状況を作り出すことで、スポーツ立県としての裾野が広がり、競技レベルの向上にもつながるはずです。

すべての県民が、スポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができる環境づくり、施設整備が求められており、西部運動公園は、スポーツ立県の確立に不可欠な要素だと考えています。

私は、これまで、「美馬市ひとすじ」をモットーに、議員活動を行ってきました。

美馬市をはじめとして、県下それぞれの地域が、その個性を活かしながら色とりどりの光を放つ、そうした「輝き躍動するたくしま」を築いていきたいと考えています。



県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組みます!

# 徳島県議会 自由民主党

美馬第2選挙区

みなみ つねお  
南 恒生

当選回数/3回



徳島県議会議員の南恒生(みなみ つねお)です。

- 平成30年9月議会の一般質問で、
- 1 児童相談所の体制強化について
  - 2 自転車の交通安全マナーについて
  - 3 結婚支援の取組について
  - 4 避難所生活者の「心の復興」の重要性について
  - 5 「にし阿波地域」の活性化について
  - 6 一般国道438号及び492号の整備について
  - 7 「薬物乱用対策」について
- を質問しました。

その中から児童相談所の体制強化について、少し掘り下げて説明します。

小児科学会の推計では、年間

350人程度の子供が虐待で亡くなっているのではという報告があり、虐待死事件として統計されている年間70人前後とは大きな開きがあります。過失死として処理された案件の中に、虐待死がまだまだ隠されているのではという気がします。平成30年3月に起きた東京都目黒区の5歳の女の子が両親から度重なる虐待を受けて亡くなった「結愛ちゃん事件」は、どうして防げなかったのかという声が全国から湧き上がった事件でした。

そういうことを今後、防いでいくためということで、国が児童相談所の強化を打ち出し、県も素早くそれに対応しています。児童相談所や市町村・警察・学校・病院との連携強化などと、国は来年度予算で児童福祉司2000人の増員を謳って

ます。これまでも職員が足りず、動かない役所としてインターネットではよく非難されてきましたが、人数不足だけではなく、日本人の心情として「子供は両親と一緒にいるのが一番幸せ」なんだという理想が、保護や介入をだめらわせてもきたし、言い訳にしてきたのではないかと、事件の度に出てくる「会おうと思って訪問したが不在だった」という記事は、仕事をしているアライバイ作りに訪問していただけないのか?ついで、疑ってしまいます。立派な職員も大勢いると思いますが、ちょっとした油断から事件は起きます。人員の強化だけではなく、『疑わしきは介入する』という強い気持ちを持った職員をふやし、悲しく痛ましい事件を起こさない決意をしていただきたい。

前日に、井川議員が里親委託や社会的養育を充実させる必要性を質問していましたが、児童相談所が保護すべきと判断したときに養護施設も活用すべきですが、それ以上に里親制度が活用できれば、子供のためにはより良い環境になるでしょう。

子育て環境の改善や相談体制の強化で、こんなことを心配しなくて良くなるように、頑張っていきたいと思っています。



大好きな美馬のため徳島のために 一所懸命に働きたい

徳島県議会  
自由民主党

料金別納  
郵便

三好市に

お住いの皆さまへ

配達地域指定

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組めます!

徳島県議会  
自由民主党

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

県民のために誠意を持って  
議会活動に取り組みます!

# 徳島県議会 自由民主党

三好第1選挙区

きただい まさふみ  
来代正文

当選回数 / 7回



徳島県議会議員の来代 正文(きただい まさふみ)です。

私は、平成3年に初当選させていただいて以来、皆様のお陰をもちまして、今任期で第7期目を務めさせていただいております。

これまで、総務、経済、県土整備委員会その他、決算認定委員会委員長を務め、数多く議会で質問して参りましたが、政治にかける私の心は、常に県民目線で一貫しております。

また、汗を流して働く県民の皆様の気持ちを忘れず、皆様の代弁者として、以下の事案等に全力投球で取り組んできたところであります。

- 遅々として進まなかった徳島自動車道の4車線化について一刻も早く工事に取りかかるべきと強く訴えたところ、国と県は、即対策に乗り出し、脇町～土成間で工事が始まりました。
- 三好地域の運転免許更新場所が、遠い阿波市に変更される計画でありましたが、特に高齢者の利便性を強く訴え、従来どおり三好市内で更新できることとなりました。
- 三好病院の医療体制強化について強く訴え、中山間地域の課題に対応できる、つまり専門医師の増員など地域医療の充実を図る取り組みが始まっています。

今後におきましても、三好地域をはじめ県全体に係る大きな事案から、足元の一つ一つまで丁寧に実行し、特に以下の点に全力を傾注して参ります。

- 三好市池田町付近に大型観光施設や企業団地を造り、観光誘客や若い人の就業場所を確保して参ります。
- 三好地域の高齢者対策や観光対策を推進するため阿波池田駅にエスカレーター等の設置や徳島線にトイレの設置を呼びかけます。
- 災害に強い三好地域づくりのため、災害時に最も頼りになる消防団員の増員を呼びかけ、また、公共工事の増加で地元企業を活性化し雇用者が消防団員になるような環境づくりにも尽力して参ります。



政治は皆様の声からです。私は、これからも弱者の立場に立ち、政治の灯りを必要とする人たちのために、住みやすく、働きやすく、子ども達の歓声が消えない徳島県、三好地域となりませうよう全力で取り組んで参る所存であります。